保原高校における商品開発の授業について

１　授業の目的

(1) 保原高校の掲げる地域連携授業の一環として、地域食材による商品開発を通して、地域活性化に繋げる。

(2) 生徒が地域の野菜や果物に目を向け、地域企業と連携することで、自分の住む地域の理解を深める。

(3) 各生徒がオリジナル商品の企画をまとめ、提案をしていく過程で、企画力・集成力・提案力等を養う。

２　対象生徒

商業科３年生　流通ビジネスコース選択者

３　過去の商品開発事例

年度	商品名	協力店	販売場所
平成 30 年度	ぶどうフロート	須田屋(保原町)	校内販売(文化祭)
平成 30 年度	伊達鶏バーガー クラムチャウダー	りょうぜん道の駅	りょうぜん道の駅 [一周年記念イベント]
令和元年度	いちごワッフル	須田屋(保原町)	校内販売
令和元年度	りんごシャーベット	牧場のジャージー(霊山町)	校内販売
令和元年度	あんぽ柿のマフィン	マザーヤマキ(梁川町)	校内販売・店頭販売

４　授業の流れ

１学期　　全国の高校生が開発した商品の事例学習
　　「商品開発」の教科書を使った学習
　　第１章　商品と商品開発／第２章　商品の企画
　　外部講師による商品開発の講話（りょうぜん道の駅様、ＪＡふくしま未来様）

２学期　　商品企画書の作成
　　協力希望店の調査
　　試作品の作成（生徒）
　　<u>商品企画書の協力希望店への提示</u>
　　商品の共同開発
　　「商品開発」の教科書を使った学習
　　第４章　商品開発とデザイン／第５章　商品開発と知的財産権
　　商品の校内販売

３学期　　商品の校内販売
　　（商品の店頭販売）

５　協力店の皆様へ

生徒が作成しました商品企画書について、アドバイスをいただけましたら幸いです。
生徒自身が試作品を作成して、お持ちします。（試作品が作成できない場合もあります。）
ご協力いただける場合は、商品企画書やレシピについて、打ち合せを進めていきます。
販売金額は、生徒が購入した食材や容器代等を差し引いて、協力店に全額お支払いいたします。
放課後や休日の作業については、生徒とご相談ください。（平日日中の作業は、ご遠慮ください。）

６　連絡先

福島県立保原高等学校　商業科
〒960-0604　　伊達市保原町字元木 23
TEL　024-575-3207　　FAX　024-575-3211
担当　齋藤　正義　　E-mail　saitou.masayoshi@fcs.ed.jp

保原高校マスコット
キャラクター
「ささりん」